



磐城日報
社
福島縣磐城市渚町51
電話 387番
比佐不二夫
編集兼發行人



果して解散か衆議院か

解散なら総選舉は一月五日頃

現在開催中の臨時國会は六年に亘る連綿強固とした吉田内閣が打倒されるか否か、一応民主党は反吉田の一線で結党されたものの政權のタライ廻しによる解散廻遊の偽わらぬ心情を秘めて時々刻々保守合同か、解散か或いはまた鳩山内閣の誕生かと複雑を極めているが、解散必至の事運を見てか各選舉管理委員会は選舉人名簿の作製を急いでいる

衆議院解散の時期は大体一ヶ月以内に亘るには自治庁から致して補正予算成立後の八月は公職選舉法により解散後県、県から市、地方事務所から各町村選舉五十日以内となり、選舉執地方事務所から各町村選舉行は告示約二十五日となつて管理委員会へ最小限二〇日から總選舉は解散五十日後の大河原一次氏を出す事殆どギリギリ来春二月の五日ないし十日頃と推定される。簿の調整などの選舉事務準は二月五日頃と見られる

ライン上の人々は八氏

ごみに政界人の動きが活化

更に衆院解散必至と見られた相馬の鈴木直人氏が自由養正会齊藤晃氏もカムバツの躍進により解散後県、県から市、地方事務所から各町村選舉の運びは近來とのみ敗している植田の青年候補共产党から的一名出馬も殆ど活動となり早くも政治プロ小野一雄氏が民主党から左派立候大河原一次氏を出す事殆ど二、右社一、左社一、共産党選舉対策委員会に公認の補額ぶれば現役三名の再出馬を含めて次の様な観測がなされている。

現役の自由党關内正一氏、日本民主黨高木松吉氏、右派社会党松井政吉氏の再出立議題は

磐城市定例教委

二十年度の事業計畫など

磐城市教育委員会は十二月など予算更生定例会は八日午後一時半から等となつて開催されると、小名浜公民館ホールで開かれます。方針、事業計画方針の樹立各学校長會議、事務官会議は確実で、これに対する最高得点は二十八年は太田秋之助氏に一期のすつものとして二十七年の選舉は馬は確実で、これに対する最高得点は二十八年は太田秋之助氏に一期のすつ

▲鹿島小学校特別四室建設議、各公民館主事会議など

小名浜公民館に
視察團相續く
文部大臣賞に輝いた磐城市
小名浜公民館はこのところ

小名は既に七〇%
磐城市の供米は順調
ガッブリ組んだ四ツ相撲の展開?

▼江名地区四三〇(七六)
九)五六・〇五%
渡辺地区一二八〇(二一)
四八五)五一・五%
一六六六)五三・八%
▼総計六三〇七、六(一)
一六六六)五三・八%

六六石の二九年度產米割當の供米狀況は非起好調で

小名浜公民館はこのところ

ツワを並べる公算が大きくなっている

なつてある

